

# 高望みをしすぎた女

幸坂 一葉

私は幸せになるために 高望みをした  
何でもやった

世の中の為に良い事をした

友達もいっぱい作った 恋人にも何でもした

しかし 私は悪行もたくさんやった

妻子ある男に恋をした

しかし その男は私の悪の部分を見ていた

私は何が何でも手に入れようとする恐ろしい女であると

その男に何でもしたが男は高望みをする女は悪だと

冷淡に言い放った

高望みするのは何が悪いのだ 私はただ幸せになりたいだけだ

私はお前の子がいる こんな幸せな事はないのだ

しかし男は お前は女神ではない いやこの世には

女神など存在していない そうだろう みんな悪魔だ お前もその子も

男も悪魔だった 神も仏も始めから存在していない 私は女神ではなかった

それではこの子は何なのだ この子には罪もない お前にそんな事言えるのか

冷たい大地に取り残された女は荒ぶる神の様に暴れた

高望みをしすぎた女は結局みじめな最期になる

この子もこの話を知れば私を悪魔だと言うのだろう

この話はいつどこでもある話だ

私は孤独の道を歩むしか残されていないからだ

# 正直に言っちゃいけないのかな

幸坂 一葉

なぜ なぜ

正直に言っちゃいけないの

あなたが傷つくからなの

私ははっきり言いたいの

正直な言葉が

何よりの薬よ

オブラードに包んで言わなきゃいけない理由はなんなの

この世はオブラードに包んで生きている

正直に話す時がなくなっている 私ははっきり言いたいの

お世辞やおべっかを使って生きている奴らに正直に言う大切さを

それでもオブラードに包まれていきたいなら 私は

あなたを捨てて正直に生きるわ

人類よ 正直に生きる 正直に言う大切さを分かれ

オブラードという物は ただ甘えるための

物だから

私はそれでも正直に

生きると